

世界の森を守るFSC®認証紙の普及を進めましょう。



森を守りながら森林の利用を続けていくFSC®の仕組みが、着実に広がりを見せています。

ネピアでは今年、「FSC® Forest Stewardship Council®(森林管理協議会)」を応援するWWF(世界自然保護基金)と提携。FSC®認証の普及促進に一層力を注いでいきます。



左 王子ネピア 社長
清水 紀暁

中 WWFジャパン 事務局長
筒井 隆司氏

右 FSCジャパン 事務局長
前澤 英士氏

ネピアは業界に先がけて 2011年からFSC®認証紙を採用

清水:王子ネピアは、3つの品質でナンバーワンを目指すという目標を掲げています。1つは使いごちのよいものをつくる「生活品質」、2つ目は「社会品質」で、代表的なのはユニセフさんとのタイアップで行っている、水と衛生の「千のトイレプロジェクト」です。そして3つの「環境品質」の柱がFSC®マークです。当社では2011年から、業界に先駆けて、FSC®認証紙を主要製品に採用しております。森林を守り、環境と共生することは王子ホールディングスの経営理念であり、メーカーの社会的責任と考えてきました。

前澤:FSC®は木材を生産する世界の森林と、木材の流通・加工過程を認証する国際機関です。森林が存在し続け継続して森林資源を配給できるか、野生生物が生息する環境を守る森林

かどうか、地域社会の暮らしや経済に貢献する森林になっているか、など多様な視点からチェックし、認証するのがFSC®マークです。従ってかなり厳しい認証システムといえます。現在、世界80カ国に広く普及しています。

清水:「環境」「社会」「経済」の3つの角度から考える、素晴らしい仕組みですね。



WWFの機関誌で王子グループのFSC®への取り組みが紹介されました。

企業などは確実に増えてきてますが、日々大量に消費される家庭紙にFSC®認証材を使用されている王子グループさんの姿勢は、本当に評価に値すると思います。

清水:はい、「ネピアクオリティ」の精神で頑張っています。新製品のネピアプレミアムソフトティッシュでは、パルプの配合や抄紙の工程か

ら工夫を重ね、ついに、本当に誇れる品質にたどり着きました。FSC®マークの商品が、使いごこちも素晴らしいければ、この制度の評価にもつながると思います。しかし、FSC®制度の日本での認知度はまだまだ低いですね。私どもが調べた限りでは、実質数パーセントでした。海外ではかなり浸透しているようですね。

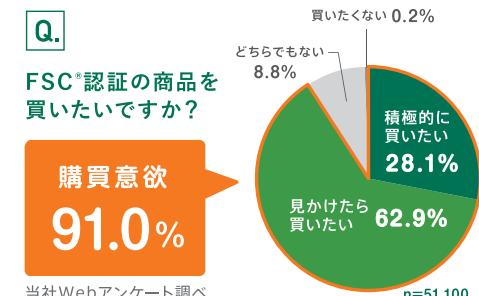
欧米ではFSC®の紙はもう当たり前 紙製品を選ぶ基準になっています

筒井:欧米での認知度は日本よりかなり高く、ドイツやイギリスでは70%ほどです。どこの店でもFSC®マークの付いた商品が買えるという状態です。FSC®の認知度が高い国に行くと、消費者はもちろんですが、流通の方の理解が非常に進んでいます。FSC®の意義を伝えるキャンペーンがかなり長い間行われた結果だと思います。日本でも同じことをやれば、FSC®の認知度は上がるはずで、これが私たちの務めだと考えています。

清水:先ほどの調査でも、FSC®の意味や意義を説明すると、「FSC®の製品を買うことで森林保全に協力できるのは嬉しい」「今後はこのマークの付いた製品を選びたい」という積極的な意見が9割以上です。この3年で30

万人のご意見が寄せられました。

前澤:私たちも様々な方法でFSC®の普及に努めています。そのひとつ「FSC®フォレストウィーク」では、メーカーさんはもちろんですが、小売企業さんの参加意欲が高まってきています。環境配慮の姿勢を打ち出すことが、消費者の共感を呼ぶのです。



メーカーと流通が一緒に意義を伝えて行くことで 消費者の理解が広がります

筒井:FSC®商品を扱うことで小売店にもメリットがあることを知ってほしいですね。

前澤:FSC®への認知が広がり、選択してもらうことで、世界の森林がより守られます。王子ネピアさんのように先駆的に取り組んでおられるメーカーさんの存在は貴重です。流通、

一般消費者に認知を広げたいですね。

筒井:私たちも持てる力を全部使って、応援させていただければと考えております。

清水:FSC®が卸企業さん、小売企業さん、消費者にも広く認知されるようになり、新たな選択基準の1つになればと考えています。

FSC®を知れば9割が購入意欲 このマークの大切さに気づく消費者が急増

清水:王子グループは、FSC®認証制度に積極的に取り組んでまいりました。グループ全体のFSC®認証材、その約半分の量を、家庭紙メーカーであるネピアが優先的に使用してい

ます。グループ内の売り上げシェアから考えると、大変な比率です。

前澤:企業イメージアップのために、パンフレットや名刺の紙として、FSC®認証紙を使用する

いつもの買い物で 環境に貢献できるのがうれしい FSC®のネピアに、消費者から30万件を超える支持の声!

個人ではこのような取り組みには直接関与できないので、商品を購入すれば貢献できるというシステムには大いに賛成ですし、応援できている気になります。今後もこのような取り組みに参加していって欲しいと思います。(40代 男性)

こんなに環境問題に取り組んでいるとは知りませんでした。今後、購入する際の1つの基準にしたいと思います。(20代 女性)

このような取り組みをしているとは知らなかった。こんどFSC®マークの商品を見付けたら買ってみたいと思う。(40代 女性)

地球の森管理を視点に取り組んでいる様子がわかって大賛成です。企業の性質に拍手を送ります。(60代 女性)

地球のためになにかやりたいという思いがあっても、なかなか結びつかないので、この取り組みを通して微力ながらも貢献できてうれしいです。これからもネピアを使って行きたいと思います。(40代 女性)

もっともっと宣伝した方が良いと思う。すごく良い事なのに、全く知りませんでした。(40代 女性)

毎日みんなが使用するものについて、このような取り組みをする事は大きな力になると思います。(30代 女性)

今回初めてそういった取り組みをされていることを知りました。同じ値段で売っているなら社会に貢献している会社のものを選びたいです。(20代 女性)

環境を大切にしていく活動を展開する事は、とても良い事だと思います。応援しています。(60代 女性)

環境保全に協力できたら、と日ごろから考えてはいても、なかなか自分に何ができるのかわからずいましたが、ネピアさんが取り組んでいることによって、間接的にも協力できます。これからも商品を選ぶときにはFSCマークがついているか確認してから購入するなど、なにかしら一個人として無力かもしれないけど、協力できたらと思ってます。こういう取り組みはとてもありがたいことです。これからもいろんな商品に広げていってもらえたなら嬉しいです。(30代 女性)



森を守る紙

ネピアの紙はWWFが推奨する世界の森林を守る紙FSC®認証紙です。

ところでFSC®認証ってどんなしくみ?

FSC®認証制度は、大切な自然を守るために、ちゃんと森林や木材を管理しているかどうかをチェックする制度です。「環境保全」「社会的利益」「経済的継続性」の観点から、10の原則と56の基準による厳しい審査がある、世界でもっとも広く認められている森林認証制度のひとつです。

1 森林資源や周辺環境にも配慮 FM認証

厳格な「10の原則」にのっとり、バランスのとれた管理をしている森の事業者に与えられます。

2 認証材をきちんと管理 CoC認証

伐採されたFM認証材を、流通や加工の過程で、適切に管理している事業者に与えられます。

3 FM認証とCoC認証の両方を FSC®認証

FM認証とCoC認証の両方の事業者を経て生まれた製品にはじめてFSC®認証マークが付けられます。

世界の森がなくなっているというニュースを見るととても辛くなります。私たち日本人はたくさん紙を使います。使わないわけにはいかないけれど、一人一人意識していかなければいけないと思っています。そんななか環境を考えた会社が増えるのはうれしいし、そういう会社を応援していくかないとけないと思っています。(40代 女性)

*これらは当社ホームページ上で行ったFSC®アンケートに寄せられたお客さまの声です。

森を守るマークを選ぼう ～森林破壊に加担しないために～

WWFジャパン 自然保護室
古澤 千明氏



するための大切なマークです。海外ではすでに多くの企業と消費者に選ばれているFSC®。特に欧米では、付いていて当たり前といつてもほど普及しています。今、日本でも、より多くの消費者が環境の変化に気づき始め、生活のなかで選んでいるものの由来に関心を持ち始めています。日々の暮らしに欠かせない紙製品だからこそ、安心して使えるものを選びたい。そう思う消費者は、確実に増えているのではないでしょうか。

Caution

WWF 森林保全と紙利用

検索

プランテーション開発による影響:
周辺国をも襲うインドネシアからの煙害
2015.11.05 WWFニュースリリース

日本にも多く輸入される紙製品
その背景にあるもの
2015.12.01 WWFニュースリリース



「森を守る紙」ネピアFSC®キャンペーン

2017年6月 START!